

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標6_地球環境・生活環境・上下水道】

施策 6-2_生活環境の保全と調和

基本計画		事業番号	細事業名称
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04094_01	環境調査事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04094_02	水質監視事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04094_03	大気監視事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04138_01	浄化槽設置整備事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	04260_01	猫不妊・去勢手術補助事業
6-02-01	快適な生活環境の維持・向上	07019_01	休廃止鉱山鉱害防止対策事業補助金
6-02-02	時代に調和した葬祭施設等の推進	04033_01	斎場施設整備事業
6-02-02	時代に調和した葬祭施設等の推進	04175_01	市営墓地整備費

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	04094_01		
事業名(行目名称)		環境調査費	細事業名	環境調査事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	環境衛生課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	116,052人			
	手段(どうやって)	各調査項目について調査・分析を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	悪臭・騒音等の調査を行い、現況を把握し、生活環境の保全を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,043	1,486	1,486	1,045	○役務費 347千円 ○委託料 1,139千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,043	1,486	1,486	1,045		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
道路交通騒音達成率 (環境基準達成戸数/主要道近傍の住居戸数 *100)		目標値	100	100	100	100	100
		実績	99.9	99.1	0	99.1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
道路騒音調査については9月に委託業者が決定し、日程調整を行っている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
道路交通騒音の常時監視は法定受託事務であり、継続的な監視が必要である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
騒音測定の結果、騒音に係る環境基準はおおむね達成されており、生活環境が損なわれていないことが確認できた。また騒音や悪臭の公害苦情に対して、騒音測定や悪臭分析により、効果的に指導を行った。生活環境の保全を図るため、継続して事業を実施する必要がある。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	04094_02		
事業名(行目名称)		環境調査費	細事業名	水質監視事業				
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和				
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	環境衛生課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	116,052人			
	手段(どうやって)	河川水、事業場排水水の分析						
	目的(どんな状態にしたいのか)	河川水、事業場排水水の水質把握を行い快適な水環境の保全を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		210	369	369	321	○需用費 15千円 ○役務費 231千円 ○備品購入費 123千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	210	369	369	321			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
排水基準達成率			目標値	100	100	0	100	100
			実績	100	100	0	100	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
河川調査は年に4回実施する予定であり、現在1回目までの調査が完了している。事業場排水については年度末に実施する予定のため、現在のところ課題等は発生していない。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
河川水、事業場排水水の水質把握を行い快適な水環境の保全を図る。現状のまま維持したい								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		B:事業の進め方の改善検討					
新居浜市内の環境保全協定を結んでいる各事業場の排水調査を行い、すべての事業所において排水基準が守られていることを確認した。快適な水環境の保全を図るため、継続して事業を実施する必要があるが、より効果的な方法を検討する。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	04094_03	
事業名(行目名称)		環境調査費	細事業名	大気監視事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	環境衛生課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	116,052人		
	手段(どうやって)	耐用年数を超過している大気測定機の更新					
	目的(どんな状態にしたいのか)	大気汚染自動測定機の保守管理・更新整備を図り、欠測の少ないデータ収集・監視体制を確立する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		2,343	2,000	2,000	1,606	○備品購入費 2,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	2,343	2,000	2,000	1,606		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
大気汚染自動測定機更新数			目標値	2	1	1	2
			実績	2	1	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
今年度更新予定の機器は既に入札済みであり、年内の導入を予定している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
大気汚染自動測定機の保守管理・更新整備を図り、欠測の少ないデータ収集・監視体制を確立するため、現状のまま維持したい。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
新居浜市の大気環境を常時監視し、大気汚染測定機を適切に保守したことで市民の健康な生活や大気環境の保全を図ることができた。大気汚染の効果的な測定のため、測定項目の見直しを実施し、一部大気汚染測定局の管理を移管した。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	04138_01		
事業名(行目名称)		浄化槽設置整備事業	細事業名	浄化槽設置整備事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	廃棄物対策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	汲取り・単独浄化槽人口(公共下水道計画区域外)		数値	20,664人		
	手段(どうやって)	昭和63年より合併処理浄化槽設置整備事業に取り組み、令和3年度末までに2,160基の浄化槽設置者に補助を行った。補助申込数の減少に対応するため、単独浄化槽から合併浄化槽への転換を促すため、単独浄化槽の撤去費補助について補助項目とした。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	公共下水道事業計画区域外においては、生活排水が水路・河川等に直接流されており、全国的にも都市部においては河川汚濁の原因となっている。したがって、この地域を対象に生活排水とし尿を併せて処理できる合併処理浄化槽の設置を推進し、公共下水道事業計画区域外での水洗化率を向上させ、河川等の汚濁の原因を公共下水道との両輪で根幹から改善していくことにより、長期総合計画にあるまちづくりを目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 15,774千円	
経費		6,886	15,774	15,774	3,652		
財源	県・国支出金	3,213	7,361	7,361	1,703		
	地方債		0	0			
	その他	3,673	0	0	0		
	一般財源	0	8,413	8,413	1,949		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
浄化槽補助基数 合併処理浄化槽設置率(下水道除く)		目標値	55	40	0.525	0.525	0.55
		実績	24	20	0.507	0.542	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
コロナ禍において資材調達が困難な事も伴って、申請が伸び悩んでいる。 成果指標を「浄化槽補助基数」としていたが、目指すべき目標値がわかりづらいため令和4年度から「合併処理浄化槽設置率(下水道除く)」へ変更。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
下水道整備区域の見直し(縮小)に伴い合併処理浄化槽により汚水処理を行う区域が拡大されることとなった。今後においては、現行の補助メニューについて一部拡充を行ったうえで、水洗化率向上を目的に汚水処理の普及拡大を行う。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
汲便槽や単独処理浄化槽から小型合併処理浄化槽へ転換することで、生活排水全体の水質向上に寄与することができた。国・県の動向を注視しながら、補助メニューや補助額等においても検討を行い、市民からのニーズに応えられるよう、継続して事業を実施する必要がある。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	04260_01		
事業名(行目名称)		猫不妊・去勢手術補助事業費	細事業名	猫不妊・去勢手術補助事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道	施策	生活環境の保全と調和			
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上	担当課	環境衛生課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	116,052人			
	手段(どうやって)	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	飼い主のいない猫の望まれない繁殖を防ぎ、良好な生活環境の保持を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		305	750	750	548	○負担金補助及び交付金 750千円	
財源	県・国支出金	152	375	375	152		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	153	375	375	396		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
不妊去勢手術実施頭数		目標値	0	90	45	90	45
		実績	0	31	65	74	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
当初の想定より利用者が多く、年度途中で予算が底をつく見込みとなっており、市民からの要望の高い事業となっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
来年度については、県からの補助金が打ち切られるため、当初予算額は縮小する。しかし、今年度も年度途中で予算が底をつく見込みとなっているため、来年度以降はクラウドファンディング等を利用し、一般財源以外の予算を確保できるよう努力する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
県補助の縮小があったため、11月に補助事業は予算満了により終了となった。 市民からの要望も強く、猫の殺処分頭数を減少させるために継続して事業を実施する必要がある。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	07019_01	
事業名(行目名称)		休廃止鉱山鉱害防止対策費		細事業名	休廃止鉱山鉱害防止対策事業補助金		
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策	生活環境の保全と調和		
	基本計画	快適な生活環境の維持・向上		担当課	産業振興課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	住友金属鉱山(株)			数値	1	
	手段(どうやって)	国の「休廃止鉱山鉱害防止等工事費補助金(休廃止鉱山防止工事費)交付要綱」より、別子銅山のように鉱害防止義務者が存在する鉱山に対し、自然(他者)汚染分の坑廃水処理経費のうち3/4を国、残り1/4を地方公共団体(県1/8、市1/8)が補助することとなっている。新居浜市も「新居浜市休廃止鉱害防止等工事費補助金交付要綱」を設置し、昭和56年より住友金属鉱山(株)が実施する坑廃水処理事業(坑水路補修や坑水路維持垢掃除等)に要する費用の一部を国・県とともに補助している。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子銅山から排出される坑廃水を適切に処理したのちに、放流することで鉱害を未然に防止する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 5,000千円	
経費		968	5,000	5,000	4,999		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	968	5,000	5,000	4,999		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
坑廃水を起因とする鉱害の発生数			目標値	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
別子銅山の坑廃水を未処理のまま放流した場合、広範囲にわたって土壌汚染、飲料水汚染、瀬戸内海の汚染等を招く恐れがあり、市民の安心で快適なまちづくりのため事業を継続的に実施していく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
廃止後の別子銅山に係る鉱害及び危害を防止するため、国・県とともに事業費の一部を継続して助成する。なお、事業経費が前年度より増加する見込みのため、増額を行う。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
住友金属鉱山株式会社が実施する坑廃水処理事業に係る費用の一部を国・県とともに助成し、廃止された別子銅山に係る鉱害の防止及び安全な水環境の整備・汚染防止につながった。安心・快適なまちづくりのため、今後も事業を継続する。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	04033_01	
事業名(行目名称)		斎場施設整備事業		細事業名 斎場施設整備事業			
総合計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策 生活環境の保全と調和			
	基本計画	時代に調和した葬祭施設等の推進		担当課 環境衛生課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民			数値	116,052人	
	手段(どうやって)	施設の延命化と利用者の利便性向上を図り、休止のない斎場施設の安全かつ安定的な運転を行うため、施設や設備の修繕、更新等を計画的に実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	利用者の希望にそった休止炉のない運営を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 5,409千円 ○備品購入費 4,103千円	
経費		160,792	9,512	9,512	9,041		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	133,300	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		27,492	9,512	9,512	9,041		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
開場日に対する稼働日の割合			目標値	100	100	100	100
			実績	100	100	100	100
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
施設の延命化と利用者の利便性向上を図り、休止のない斎場施設の安全かつ安定的な運転を行うため、施設や設備の修繕、更新等を計画的に執行している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
備品購入については更新完了したため不要であるが、火葬施設については今後も計画的にメンテナンスすることにより、安全性かつ安定的な運転に努める。また稼働年数が経過することによりメンテナンス費用は増大する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
施設や設備の修繕、更新等を計画的に執行することにより、休止のない斎場施設の安全かつ安定的な運転を行うことができ、併せて、施設の延命化と利用者の利便性向上が図れた。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	04175_01	
事業名(行目名称)		市営墓地整備費		市営墓地整備費			
総合 計画	まちづくり	地球環境・生活環境・上下水道		施策			
	基本計画	時代に調和した葬祭施設等の推進		担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市営墓地利用者及び墓地を必要とする市民		数値	116,052人		
	手 段 (どうやって)	三墓地の返還墓所のうち、ニーズのあると見込まれるものについて順次整備し、再貸出ししていく。あわせて、再貸出しにより新たに生まれる使用料収入の範囲内において、三墓地の修繕等を行っていく。					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	三墓地において、返還されたまま放置されている墓所を順次整備し、再貸出ししていくことにより、墓所の循環利用を促進し、行政財産の効率的な活用及び市営墓地の適正管理を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,458	7,500	7,500	4,778	○需用費 6,518千円 ○委託料 982千円	
財 源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	1,458	7,500	7,500	4,389		
	一般財源	0	0	0	389		
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
墓所使用料収入(千円)			目標値	7500	7500	7500	7500
			実績	4011	1470	1071	4389
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
三墓地の返還墓所のうち、ニーズのあると見込まれるものについて順次整備し、再貸出ししていく計画であるが、再貸し出しについて希望者と協議を進めている段階であり、整備工事等に着手できていないのが現状である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
三墓地において、返還されたまま放置されている墓所を順次整備し、再貸出ししていくことにより、墓所の循環利用を促進し、行政財産の効率的な活用及び市営墓地の適正管理を図るためにも、現状を維持したい。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
空き墓所を順次整備し、再貸出ししていくことにより、墓所の循環利用を促進できており、再貸し出しによる行政財産の効率的な活用及び市営墓地の適正管理を図れた。							